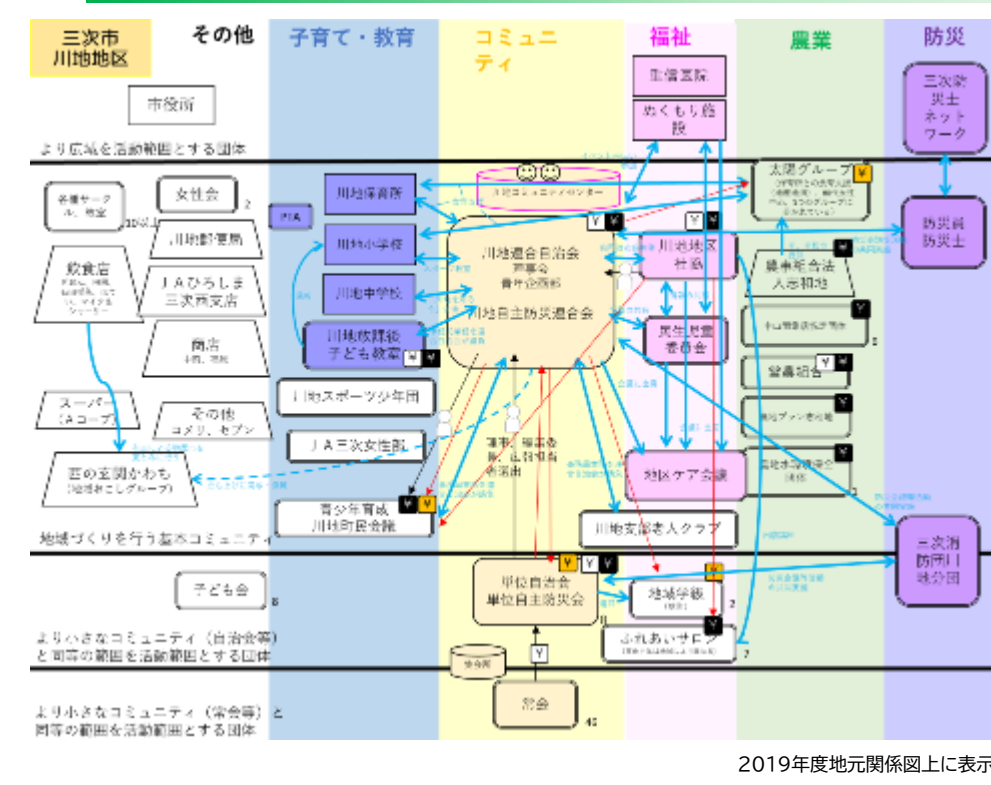


## 01 取り組み概要

実施主体	川地連合自治会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生に川地の歴史、特徴などを知ってもらいたい。</li> <li>● 中学生と地域で頑張っておられる人との交流を図り、地域への愛着を養成し、将来へ向けての光としたい。</li> <li>● 地域の人を通じて、いろいろな方面について知識を得、興味を持ち幅広い人間となってほしい。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018(平成30)年からスタート、毎年新1年生を対象に午前中授業時間を利用、中学校とも連携を取りながら実施している。</li> <li>・基本的には地域内を生徒が自転車で話を聞きながら回り、土地勘とそれぞれの場所で頑張っておられる人と交流する。</li> <li>・川地の名前の成り立ちとか江の川の働きなどのデスクワークの後、自転車でのフィールドワーク、地域の人のお話を聞きながら回る。(川立七つ塚3号古墳、江戸時代の古文書が残る本山田、石見堂橋古戦場跡、江の川の樋門、児玉醤油、農事組合法人志和地、酪農農家、(カフェ)マイク&amp;シャーリー、前衛書家竹澤丹一記念専正寺赤光庵など)</li> <li>・中学生は学習結果を11月の文化祭で発表する。</li> </ul>

## 02 取り組み体制



## 03 特徴・工夫

- 将来を担う子どもたちに地域を知ってもらうこと。
- 学校側との意思疎通を図り、子どもたちにも事前に学習してくること。(質問事項を前もって地域の方々に提供し、より詳しい質問が出るよう工夫する。)
- 計画段階で地域の方々とよく話をする事。
- 地域で新しく起業された方、Uターンされた方などの情報を日頃より集めておくこと。
- 通ってくる子どもたちの地域性も考慮しておくこと。
- フィールドワークを通して、新たに疑問に思ったことなどを大切に次の学習に活かしてもらうよう促すこと。

## 04 成果と課題

### 成果

- 将来を担う子どもたちに郷土に対して愛着を持たせることができています。
- 学校との連携強化を促し、先生方においても地域の特徴などについて理解する良い機会となっている。

### 課題

- 子どもたちに実際の現場をいかに感じ取らせ、郷土に対し興味を持たせていくかが重要でありテーマとなる。

## 05 取り組みの様子



**声**  
子どもたちの

○ 川地の地域のことが分かって勉強になり、川地がより好きになった。  
○ 川地という名前の由来、江戸時代の庄屋を中心とした世界など郷土史のことが分かり楽しいです。  
○ 川地地域でいろいろな分野で活躍されている人を知り視野が広

**声**  
学校関係者の

○ 地域のことを子どもたちに教える良い機会となり、学校としても大変助かっている。  
○ 地元ではない先生方が地域の人と触れ合う良い時間となっている。